

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-295989

(P2005-295989A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005.10.27)

(51) Int.Cl.⁷**A23L 2/38****A23L 2/00**

F 1

A 2 3 L 2/38

A 2 3 L 2/38

A 2 3 L 2/38

A 2 3 L 2/00

テーマコード(参考)

4 B O 1 7

A

C

T

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願2004-147010 (P2004-147010)

(22) 出願日

平成16年4月14日 (2004.4.14)

(71) 出願人 503428840

平野 哲也

福島県安達郡岩代町西新殿字野竹内 194

(72) 発明者 平野 かおり

福島県安達郡岩代町西新殿字野竹内 194

町営住宅 1-1

F ターム(参考) 4B017 LC02 LE10 LG10 LG20 LK04
LL01

(54) 【発明の名称】 ビール風味のアルコールレス炭酸飲料の製造方法。

(57) 【要約】

【課題】 法から見ても、モラルから見ても何の問題も無く、飲む人を選ばない、炭酸飲料が提供出来る。

【解決手段】 麦茶・甘味料・ホップ(ホップペレット)を合わせて煮出し、炭酸水で割るだけなのでアルコ - ル発酵を伴わず、まったくアルコ - ルを含まない、アルコ - ルレスのビ - ル風味の炭酸飲料の製造方法を発見した。

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

麦茶・甘味料・ホップ(ホップペレット)・炭酸水・香料を使用したビ-ル風味のアルコ-ルレスの炭酸飲料の製造方法。

【発明の詳細な説明】**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

この発明は、ビ-ル風味を麦茶・甘味料・ホップ(ホップペレット)・炭酸水・香料を 10 ブレンドして作る炭酸飲料の製造方法である。

【背景技術】**【0002】**

従来のノンアルコ-ルビ-ルでは、製造過程でアルコ-ル発酵を伴うためアルコ-ルの含有を減少させることができても、含有自体を無くす事が出来ない。

また、ビ-ル製造は工程が複雑なので、製造するのに手間と時間がかかる。

【発明が解決しようとする課題】**【0003】**

アルコ-ル1%未満は、酒税法では酒にはならないが、アルコ-ルが含有している事には変わりなく、量を多く摂取すれば飲酒と同じである。 20

本発明は、ビ-ル風味をアルコ-ル発酵を行わずに製造し、アルコ-ル含有率0%の気軽に飲めるビ-ルフレ-バ-の炭酸飲料の製造方法である。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

上記の問題を解決するために、従来と違った製造方法でビ-ルの風味を作り出す手段を発見した。

製造方法は次の通りである。

(イ) 水 1 L・麦茶のパック 1袋(1Lに対して1袋のパックで水出し・煮出し両用タイプ)・ホップペレット 1g(酸3.0~3.3%の物)・甘味料3g(上白糖)を蓋付きの鍋もしくはやかんに、全部の材料を合わせて火にかける。 30

(ロ) 沸騰したら、さらに中火にして60分煮る。

(ハ) 煮出した原液を冷ます。(冷蔵庫で良く冷やすと更に良い。)

(ニ) 冷やした原液100CCに対して炭酸水400CCで割るとちょうど良いビ-ル風味の炭酸飲料が出来る。(原液1:炭酸水4の割合)

(ホ) 割ることにより炭酸の強さが弱まるので、更に炭酸を注入する。

【発明を実施するための最良の形態】**【0005】**

上記の製造方法はあくまでも基本の製造方法なので、さらに各種香料(フレ-バ-)を加えることにより、味のバリエ-ションを増やすことが可能である。

実験結果としては、ホップ(ホップペレット)もしくは甘味料の種類を変えるだけでも、一味違った風味を楽しむことが出来る。ノンカロリ-の甘味料を使用すれば、ダイエッタしている人でも飲める。天然素材が主成分なので、健康飲料にもなり、体にやさしい飲み物である。 40

また、製造方法も至って簡単なので、製造コストを削減出来る上、発酵工程が無い分完成までの手間と時間を大幅に短縮出来る。

【発明の効果】**【0006】**

麦茶が主成分でアルコ-ルを含有していない炭酸飲料なので次のような効果がある。

(A) 飲んでも車の運転が出来る。

(B) 昼夜を気にせずに、ビ-ル風味を楽しむことが出来る。 50

- (C) 未成年者でも炭酸飲料として飲める。
- (D) 医者からアルコ - ルを止められている病人・妊婦でも、お茶の炭酸飲料なので飲める。
- (E) ノンカロリ - の甘味料の使用でダイエットを気にしている女性も愛飲出来る。
- (F) 製造工程が簡単なので、ノンアルコ - ルビ - ルよりも製造コストが削減出来る。
- (G) 国外でもアルコ - ルレスのビ - ル風味の炭酸飲料は販売されていないので、国内のみならず、世界規模で販売を展開出来る。